

# みと 美都



大谷グローブに感謝！

御津南部小学校  
校長室だより  
令和6年2月26日  
No.42

## ありがとうございますの気持ちを伝えました



2月22日（木）、学習や登下校、環境整備などで学校を支えてくださっている皆様に感謝の気持ちを伝える「感謝の会」を開きました。お招きしたのは、交通指導員・子ども見守り隊のみなさん、みと南おやじの会のみなさん、主任児童委員・スクールサポートスタッフの方々、英語遊び・読み聞かせの方たち、みとのきらりさん、大葉農家の方たち、行事補助・図書館整備のみなさん、そしてあいさつ運動のみなさんたちです。

感謝の気持ちを伝えるために、児童会会長、副会長が代表してお礼の言葉を述べ、子どもたちが心をこめてつくった感謝の色紙を贈呈し、最後に、嵐の「ふるさと」を全校で歌い、感謝の歌をプレゼントとしました。

地域の方々、保護者のみなさま、いつも御津南部小を応援してくださりありがとうございます。地域の大人が子どもたちを見守り、学習や行事などの教育活動を支えてくださっていることで、子どもたちの心身の健康が守られ、安心安全で充実した学校づくりがより推進されていると感じています。お忙しいのにかかわらず、「子どもたちの笑顔が嬉しいです」と言って、様々な面で子どもたちを支えてくださることを、とても感謝しております。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

色紙づくりや歌の練習をがんばった全校のみなさん、中心になって会を運営した児童会のみなさん、みんなで力を合わせてよい会ができました。

「巡り会いたい人がそこにいる やさしさ広げて待っている」「山も風も海の色も 君のふるさと ぼくのふるさと」「ここはふるさと」の歌詞がじわりと心に響きました。



# ZOOMでオーストラリア交流

2月19日（月）のみとなんタイムに、交流委員の子たちがオーストラリアシデナム校とWeb会議（ZOOM）で、英語や日本語を使って交流をしました。交流した相手は、シデナム校の4年生前後の人たちでした。約20分に渡って、自己紹介や日本の遊びを紹介したり、実際に折り紙を教えたりしました。新型コロナなどの影響を受け、人の交流が難しい状況ではありますが、工夫しながら、海外交流を続けていきます。今月の終わりの全校集会で、オーストラリア交流について発表します。

日本とオーストラリアは、時差が少ないため、学校時間内に交流ができるよさがあることを発見しました。



## 町内会出前講座 3年

2月19日（月）3時間目に、豊川市役所市民協働国際課の本田さんと連区長の佐藤様、下佐脇区長の長澤様をお招きして、3年生の子たちに町内会講座が行われました。クイズ形式で、町内会の活動について学習し、また、御津町の町内会が実際にどんなことをしているかお話を聞きました。3年生の子たちは、講師の方のお話をよく聞いていました。とても反応がよく、子どもらしい意見や考えがどんどん出てきて、講師の方は大喜びでした。



今回の講座では、下佐脇の方々に来ていただき、テレビでも紹介された「どんき」についてお話を聞き、少しだけ体験をさせてもらいました。天狗やキツネの登場に子どもたちは大喜びでした。

町内会は、地域の人たちが住みやすく安心できるまちづくりをめざして、地域のためになる活動をたくさんしてくれていることがよくわかりました。

## 6年三遠ネオフェニックス出前講座

2月21日（水）、6年生は、地元プロバスケットボールチーム『三遠ネオフェニックス』の元選手の「オカちゃん」、そして「えぐちさん」と交流をしました。バスケットボールのおもしろさを教えていただくと同時に、プロになるために努力してきた経験を通して、将来、自分の夢を叶えるために大切にしていかなければならないこと、人生の基礎となる学習や生活習慣づくりなど学生時代にしておくことなど、たくさんのお話をいただきました。

卒業を間近に控え、夢を叶えるために、人生の新たな一歩を踏み出そうとしている6年生の子たちにとって、これからのことを考える有意義な時間になりました。

